

患者さんへ

「当院における光選択的前立腺蒸散術 220 例の臨床的検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2016年12月～2024年3月に当院で前立腺肥大症に対し光選択的前立腺蒸散術 (photoselective vaporization of the prostate: PVP)を受けられた方
2 研究目的・方法	<p>男性の下部尿路症状を来す代表的疾患に前立腺肥大症があります。前立腺肥大症に対する治療は診療ガイドライン上からもまずは行動療法、薬物療法が行われます。しかし、薬物療法の効果が不十分な場合、もしくは中等度から重度の症状が認められる場合には手術がおこなわれます。前立腺肥大症に対しての手術療法は永らく電気メスを用いた経尿道的前立腺切除術 (transurethral resection of the prostate: TUR-P) が行われていましたが、近年、技術の進歩によりレーザーを用いたより低侵襲手術が普及してきています。当科においても2016年よりPVPを施行し、良好な結果を取っています。</p> <p>本研究では、治療効果の評価のために当院で前立腺肥大症に対しPVPを受けた患者さんの術後の経過、合併症の有無、患者さんの満足度等をカルテ記載の内容から抽出します。</p> <p>これによって、治療の長期間の有用性を評価し今後の治療に役立てます。</p> <p>研究の期間:施設院長許可(2024年4月予定)～2024年12月</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	患者さんの年齢、既往歴、前立腺の大きさ、手術時間等 また術前・術後の血液検査データ、排尿状態の変化(排尿回数、尿流量測定、残尿測定等)、満足度等のアンケート結果をカルテから確認します。
5 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 三浦一郎 湘南鎌倉総合病院 泌尿器科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717</p>